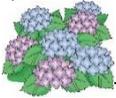


高 第1学年 進路だより



山口県立下関西高等学校 進路指導部

令和7年6月10日発行

皆さんが入学して早いものでもう2か月が経ちました。学校生活にも慣れ、4月当初の緊張感も少し和らいできた頃かと思います。部活動では高校総体や高校総文が開催され、学校行事では旭陵祭が行われるなど、一人ひとりが忙しくも充実した日々を送っているはずです。西高の校是にある「天下第一関」は、挑戦することを表しています。学校行事や部活動、課外活動など西高生としてどんなことにもチャレンジをする中で、自己の将来について真剣に考えていってほしいと思います。

1年生の皆さんは学習面においても新たなチャレンジが始まっているのではないのでしょうか。中学校時代に比べはるかに多い宿題、ほぼ毎日行われる小テスト、そして定期考査で学ぶべき分量にも違いを感じたはず。高校では自身の目標を設定し、やるべきことを明確にし、計画的に取り組むことが必須となります。ぜひこの1年の間に高校レベルでの学習習慣を身に付け、大学受験に向けた基礎的な知識技能の習得をはかりましょう。本号では4月に実施したスタディサポートを改めて振り返り、皆さんがこれからの高校生活や学習に活かす契機となることを期待しています。

○スタディサポートの結果を踏まえて

スタディサポートでは中学校3年間で習った事項について広い範囲から基礎的、標準的問題が網羅的に出題されています(図1)。つまり中学校内容の基礎的な知識技能に漏れや抜けがないかを確認できます。大学受験というと、難しい問題を解かなければならないというイメージがあるかもしれませんが、入試で合格する生徒とは、第一に「基礎学力」の土台がしっかりしている生徒です。土台なくして応用力が身につくことはありませんので、高校1、2年生の間の基礎力向上を徹底しましょう。参考にスタディサポートの成績表にあるGTZ(学習到達ゾーン)の目安を掲載しています(図2)。ただ、これはあくまでも目安であり、これからの学習次第で(良くも悪くも)大きく変わるものです。目の前の成績に一喜一憂することなく、今やるべきことを積み重ねることが大切です。

図1

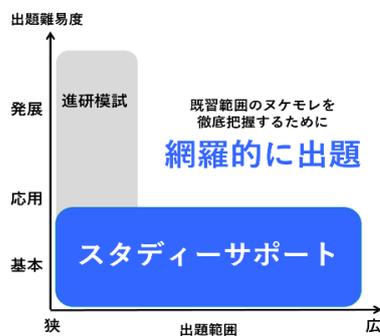
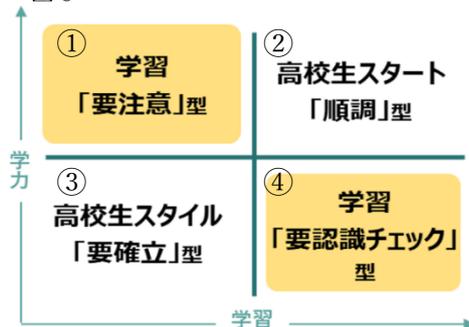


図2

GTZ	主な進学先
S1	東大・京大・大阪大 神戸大・九州大・名古屋大
S2	
S3	
A1	広島大・岡山大 MARCH 関関同立
A2	
A3	
B1	地方国公立大 産近甲龍
B2	
B3	
C1	【私立大、看護・医療系専門学校】 推薦入試合格レベル
C2	
C3	
D1	【私立大、短大】 大学入試挑戦レベル
D2	
D3	義務教育で学ぶ「読み・書き・計算力」必須レベル

また、スタディサポートでは皆さんの取り組みを「学力」と「学習状況」の両面から見る事ができます。成績個人票の「学力×学習バランス」を改めて見て、現在の自分自身の状況を確認し、自身の学習、生活を見直しましょう。

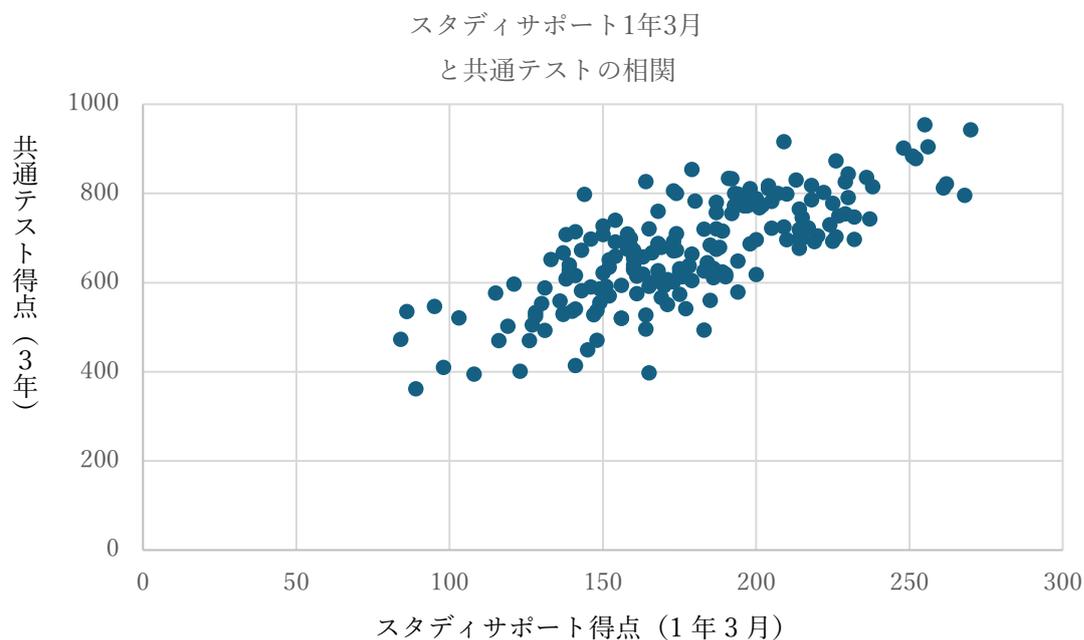
図3



- ①学習「要注意」型
→今後成績が落ちていく可能性が高い！学習習慣の見直しを。
- ②高校生スタート「順調」型
→基礎を疎かにせず、この調子で丁寧な学習を継続していこう。
- ③高校生スタイル「要確立」型
→これまで通りの学習では高校内容には対応できない。意識も行動も変えていこう。
- ④学習「要認識チェック」型
→継続は力なり。授業や小テストなどを大切にして、力をつけていこう。学習時間に対して成績が思うように上がらない人は学習方法を見直してみてもいい。教科の先生に相談！

(図1~図3は株式会社ベネッセコーポレーションより提供)

スタディサポートの結果を踏まえて、これからの学習への取り組みを改めて考えることができたでしょうか。次のグラフを見てみてください。これは西高の卒業生のスタディサポート1年3月の成績と高校3年次の共通テスト本番の成績をグラフにしたものです。



このグラフから何を読み取ることができるでしょうか。一つ言えることは、1年3月のスタディサポートの得点が高い人は、高3の時の共通テスト本番でも得点が高い傾向にある、ということです。言い換えると、「1年の時に基礎の定着ができている人は、受験でも強い」ということですね。すでに述べたように、スタディサポートは基礎的知識技能の確認をするテストです。その基礎力は努力すれば誰にでも習得できるものです。まずは日々の授業の受け方、宿題や小テストへの取り組みを意識してみましょう。小さな変化の積み重ねが大きな変化を生みます。

そして今月末には期末考査があります。定期考査に向けてしっかりと計画を立てて早めの準備をしましょう。近々中間考査を振り返るプリントを配布して、自分の勉強の仕方を見直してもらいます。中間考査では、中学校の定期考査とは範囲も難易度も大きく違うことに気づいたはずですが、高校生レベルの学習ができるよう反省点を改善していきましょう。期末考査が終わったときに、「やるべきことはやった！」と自分を誇れる学習をしてみてください。

(文責 藤野)

「天下第一関」

何事にも高い目標をもってチャレンジしていきましょう！